透明人間現わる（1949）

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　特撮
製作国 日本
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1949/09/26

【解説】
　物体を透明にする薬品を作り上げた博士と助手が、その秘密を漏らしたために誘拐される。誘拐した男は、博士たちの解放と引き換えに薬を助手に飲ませ、“アムールの涙”と呼ばれる宝石を盗み出そうとする。そして、その薬を飲んだ助手は透明人間になるが……。タバコを吸った透明人間の肺が、煙によって一瞬浮かび上がるシーンが有名。

【クレジット】

監督	安達伸生	
企画	奥田久司	
原案	高木彬光	
脚本	安達伸生	
撮影	石本秀雄	
美術	中村能久	
音楽	西梧郎	
特殊撮影	圓谷英二	
出演	月形龍之介	中里謙造
	喜多川千鶴	中里真知子
	夏川大二郎	瀬木恭介（中里研究所所員）
	小柴幹治	黒川俊二（中里研究所所員）／透明人間
	水の江滝子	水城龍子
	伊達三郎	笹谷敬三
	羅門光三郎	松原捜査主任
	南部彰三	宮沢梅夫
	上甲寛	谷本長官
	荒木忍	畑中義平
	上田吉二郎	
	大美輝子	
	杉山剛	
	高原朝子	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.